

## ◆ 今週のコメント

- マラリアの報告が1例(男性, 20歳代)あります。症状は発熱・関節痛・黄疸・血小板減少です。推定感染地域は国外(アンゴラ)で、蚊からの感染と推定されています。本年の累積報告数は2例となっています。
- クロイツフェルト・ヤコブ病の報告が1例(男性, 60歳代)あります。症状は進行性認知症・ミオクローヌス・錐体路症状・錐体外路症状・小脳症状・視覚異常・無動性無言状態・記憶障害・精神・知能障害・異常感覚・筋強剛で、推定感染地域は国内、推定感染経路は不明です。本疾患の届出基準や届出に必要な要件等については、下記のホームページを御覧ください。  
○厚生労働省「クロイツフェルト・ヤコブ病 感染症法に基づく医師及び獣医師の届出について」  
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou11/01-05-05.html>
- 梅毒の報告が2例(男性, 50歳代及び女性, 20歳代)あります。共に推定感染地域は国内で、推定感染経路は性的接触(異性間)です。本年の累計報告数は8例となっています。
- インフルエンザの京都市の定点医療機関あたり報告数は、0.28 になりました。

## ◆ 今週のトピックス: <ヘルパンギーナ>

- 京都市のヘルパンギーナの定点当たり報告数は0.45(19例)となり、前週0.24(10例)から増加しました。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- 二類:結核 12例(肺結核 5例, その他結核 3例, 潜在性結核感染者 4例)うち喀痰塗抹陽性 1例  
【1月以降の累積報告数 133例(肺結核 79例, その他結核 24例, 潜在性結核感染者 30例)うち喀痰塗抹陽性39例】
- 四類:マラリア(熱帯熱) 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- 五類:クロイツフェルト・ヤコブ病 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- 五類:梅毒 2例(早期顕症梅毒 I 期1例,無症状病原体保有者1例)【1月以降の累積報告数 8例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.28	19
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	8.24	346
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.36	99
	③ 流行性耳下腺炎	0.62	26
	④ 手足口病	0.52	22
	⑤ ヘルパンギーナ	0.45	19
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

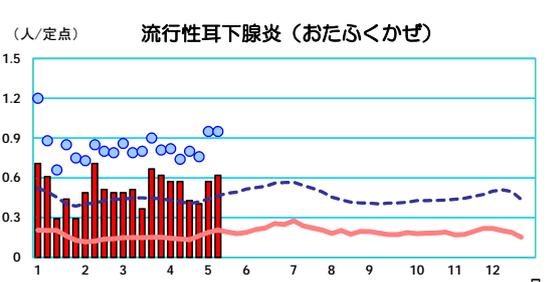
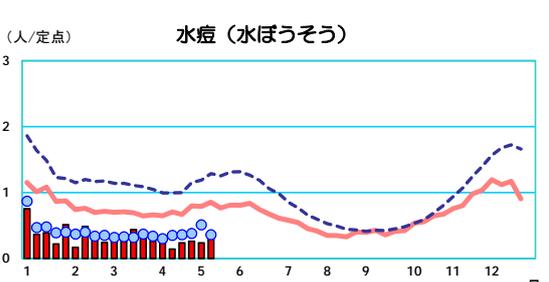
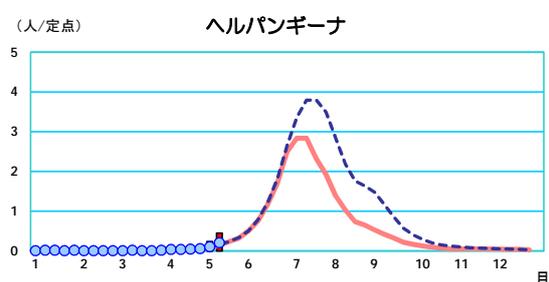
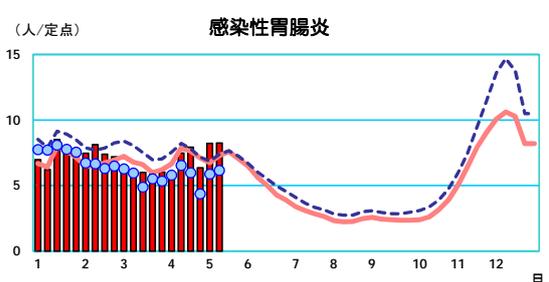
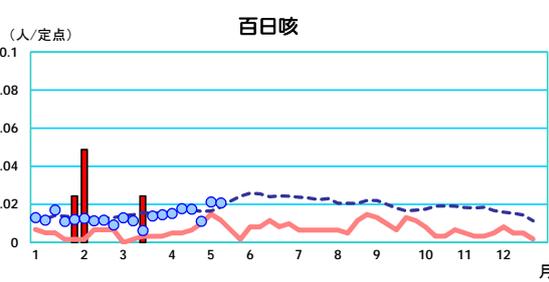
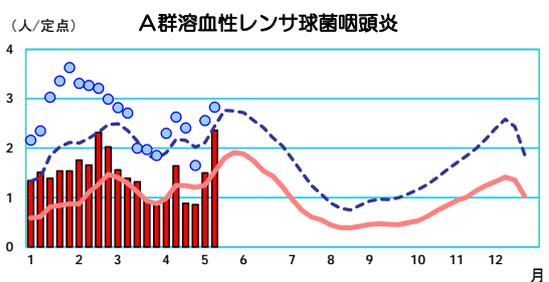
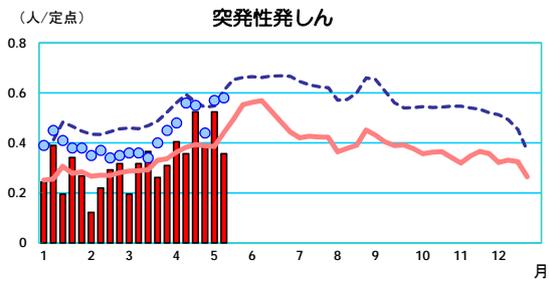
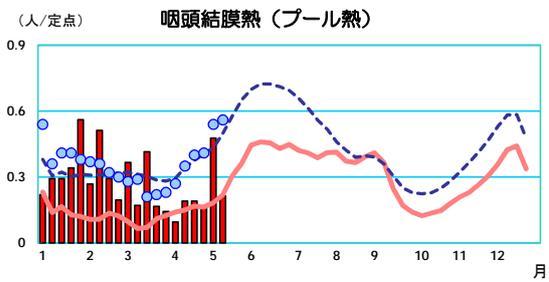
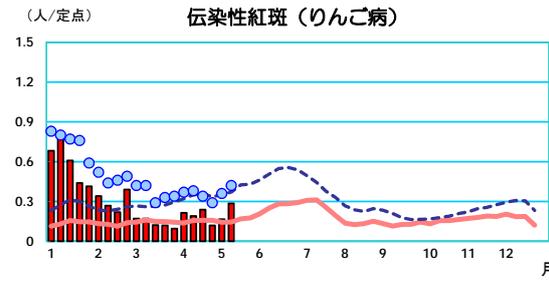
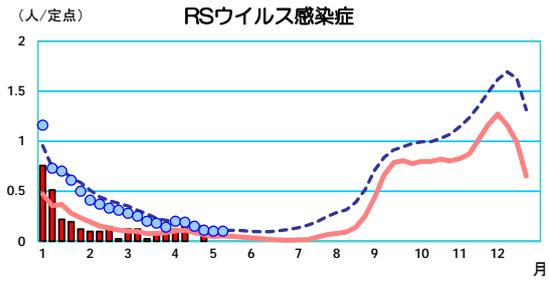
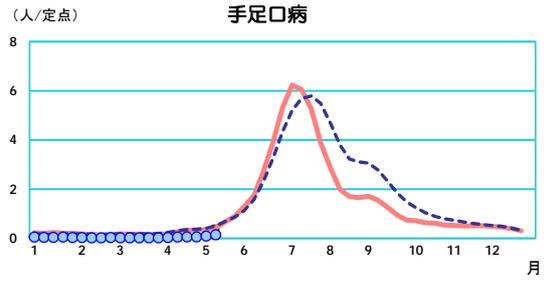
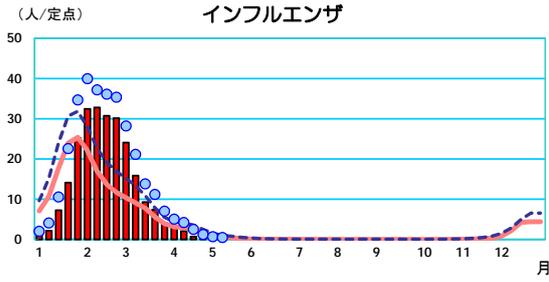
### 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <ヘルパンギーナ>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成28年5月25日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）



## 第20週(5月16日～5月22日)トピックス: <ヘルパンギーナ>

### 京都市及び全国の発生動向

京都市のヘルパンギーナの定点当たり報告数は0.45(19例)となり、前週0.24(10例)から増加しました(図1)。過去5年間の同時期と比べ、3週連続で最も多い報告数となっています(図2)。全国的にも増加傾向にあり、特に西日本を中心に、近畿6府県を含め顕著な増加が見られます(図3)。例年5月頃から増加しはじめ、7月頃にピークを形成することから、今後の発生動向に注意が必要です。

### 症状

ヘルパンギーナは、発熱と口腔粘膜にあらわれる水疱性の発疹を主症状とし、夏季に流行するいわゆる「夏かぜ」の代表的疾患です。主にコクサッキーウイルスA群を原因として発症します。潜伏期間は2～4日で、突然、38～40℃の発熱が1～3日間続きます。咽頭痛、咽頭粘膜の発赤、口腔内には直径1～5mmほどの小水疱が出現し、疼痛を伴います。ほとんどは予後良好ですが、まれに無菌性髄膜炎、急性心筋炎などを合併することがあります。患者の年齢は、5歳以下が全体の約90%を占めます。

### 予防

感染予防として、患者との濃厚接触を避け、うがいや手洗いを心掛けましょう。回復後も2～4週間、便にウイルスが含まれますので、トイレやおむつ交換の後などは特に手洗いを十分に行いましょう。

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

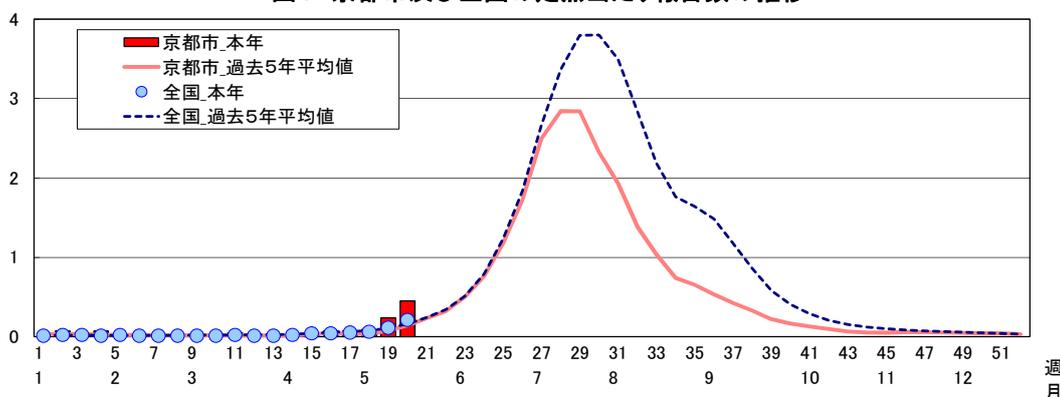


図2 京都市の定点当たり報告数の推移(2011年以降)

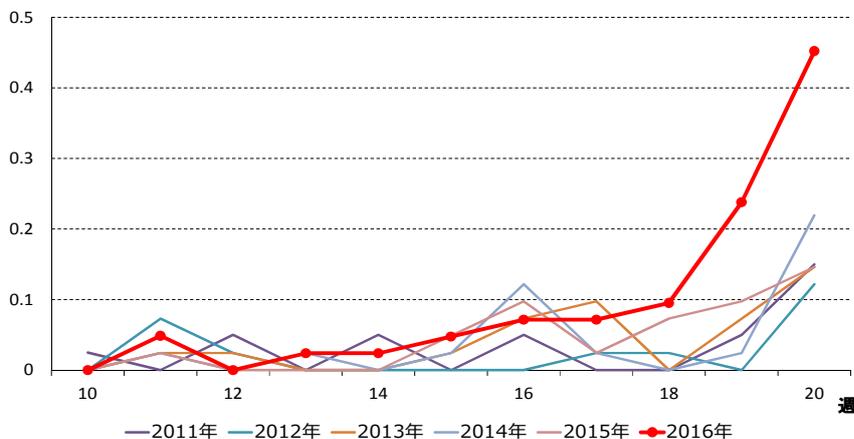
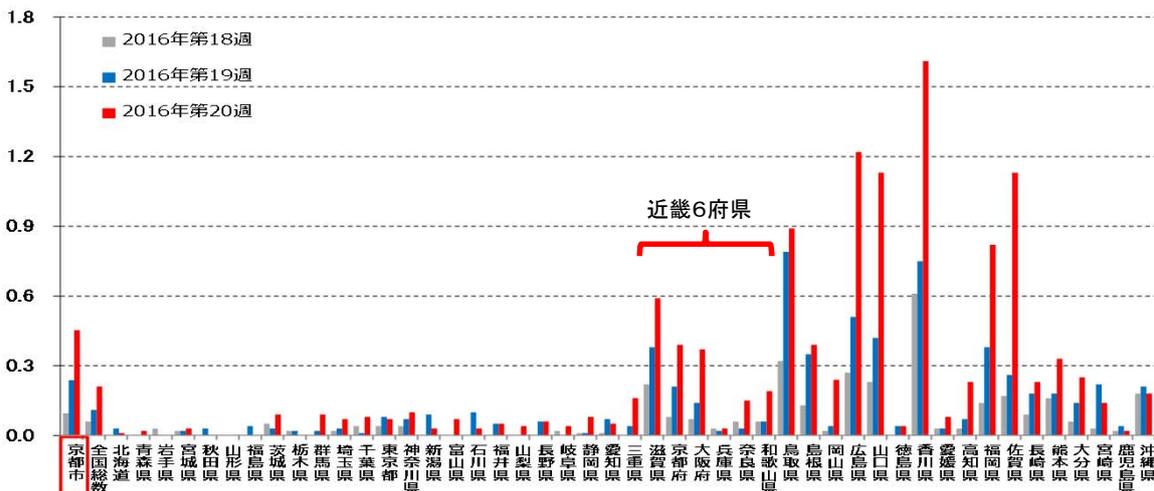


図3 都道府県別定点当たり報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第20週

疾病,行政区別報告数

平成28年5月16日～平成28年5月22日

データ入手日:平成28年5月25日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	-	-	-	-	7	-	-	-	2	-	1	-	-	-						
上京	-	-	1	14	6	-	-	2	1	-	-	-	-	-						
左京	2	-	-	9	76	11	-	1	2	-	1	2	-	-						
中京	1	-	-	3	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	2	20	-	-	-	1	-	-	1								
山科	1	-	-	16	12	-	1	4	1	-	3	1	-	-						
下京	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-								
南	6	-	-	4	31	1	10	-	2	-	8	2								
右京	-	-	3	18	78	1	11	1	2	-	3	5	-	1						
伏見	9	-	2	24	55	-	-	3	4	-	3	13	-	-						
西京	-	-	3	9	46	2	-	1	-	-	-	2	-	-						
京都市計	19	-	9	99	346	15	22	12	15	-	19	26	-	1	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	-	-	-	-	1.75	-	-	-	0.50	-	0.25	-	-	-						
上京	-	-	0.33	4.67	2.00	-	-	0.67	0.33	-	-	-	-	-						
左京	0.29	-	-	2.25	19.00	2.75	-	0.25	0.50	-	0.25	0.50	-	-						
中京	0.20	-	-	1.00	4.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	1.00	10.00	-	-	-	0.50	-	-	0.50								
山科	0.14	-	-	4.00	3.00	-	0.25	1.00	0.25	-	0.75	0.25	-	-						
下京	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-								
南	1.20	-	-	1.33	10.33	0.33	3.33	-	0.67	-	2.67	0.67								
右京	-	-	0.60	3.60	15.60	0.20	2.20	0.20	0.40	-	0.60	1.00	-	1.00						
伏見	0.82	-	0.29	3.43	7.86	-	-	0.43	0.57	-	0.43	1.86	-	-						
西京	-	-	0.60	1.80	9.20	0.40	-	0.20	-	-	-	0.40	-	-						
京都市計	0.28	-	0.21	2.36	8.24	0.36	0.52	0.29	0.36	-	0.45	0.62	-	0.10	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第20週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年5月16日～平成28年5月22日

データ入手日:平成28年5月25日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	19	-	-	1	2	1	4	-	-	-	-	-	2	2	-	-	4	1	1	-	1
RSウイルス感染症		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		9	-	1	6	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		99	-	1	5	7	11	16	9	8	13	5	7	7	1	9	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		346	1	33	59	36	37	28	23	26	14	16	11	26	8	28	-	-	-	-	-	-
水痘		15	-	-	4	2	-	-	1	1	3	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	22	-	-	9	11	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		12	-	1	1	1	1	2	3	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		15	1	7	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		19	-	3	6	4	2	-	1	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		26	-	-	1	1	3	1	3	2	4	2	2	6	-	1	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.28	-	-	0.01	0.03	0.01	0.06	-	-	-	-	-	0.03	0.03	-	-	0.06	0.01	0.01	-	0.01
RSウイルス感染症		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.21	-	0.02	0.14	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.36	-	0.02	0.12	0.17	0.26	0.38	0.21	0.19	0.31	0.12	0.17	0.17	0.02	0.21	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		8.24	0.02	0.79	1.40	0.86	0.88	0.67	0.55	0.62	0.33	0.38	0.26	0.62	0.19	0.67	-	-	-	-	-	-
水痘		0.36	-	-	0.10	0.05	-	-	0.02	0.02	0.07	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	0.52	-	-	0.21	0.26	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.29	-	0.02	0.02	0.02	0.02	0.05	0.07	0.02	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.36	0.02	0.17	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.45	-	0.07	0.14	0.10	0.05	-	0.02	-	-	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.62	-	-	0.02	0.02	0.07	0.02	0.07	0.05	0.10	0.05	0.05	0.14	-	0.02	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第20週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年5月25日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	203	143	51	33	14	19
RSウイルス感染症	5	7	-	3	-	-
咽頭結膜熱	4	8	8	7	20	9
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	41	69	37	36	63	99
感染性胃腸炎	249	314	333	267	345	346
水痘	12	6	10	11	10	15
手足口病	-	2	4	-	9	22
伝染性紅斑	9	8	10	5	7	12
突発性発しん	17	15	22	16	22	15
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	3	3	4	10	19
流行性耳下腺炎	24	24	18	17	24	26
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	2	3	3	2	1
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	568	601	499	402	526	583

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	2.94	2.07	0.74	0.48	0.20	0.28
RSウイルス感染症	0.12	0.17	-	0.07	-	-
咽頭結膜熱	0.10	0.19	0.19	0.17	0.48	0.21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.98	1.64	0.88	0.86	1.50	2.36
感染性胃腸炎	5.93	7.48	7.93	6.36	8.21	8.24
水痘	0.29	0.14	0.24	0.26	0.24	0.36
手足口病	-	0.05	0.10	-	0.21	0.52
伝染性紅斑	0.21	0.19	0.24	0.12	0.17	0.29
突発性発しん	0.40	0.36	0.52	0.38	0.52	0.36
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.05	0.07	0.07	0.10	0.24	0.45
流行性耳下腺炎	0.57	0.57	0.43	0.40	0.57	0.62
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	0.20	0.30	0.30	0.20	0.10
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	11.78	13.13	11.63	9.49	12.55	13.78

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。